

受入環境の充実に向けて

試行内容 ①休憩施設の充実

○サイクリストが途中で食事や休憩を行いやすくすることを目的に、民間施設や公的施設(道の駅や空港など)と連携しながら、サイクルラックや修理工具を設置するなど、休憩施設を充実。

▼サイクルラック

試行前:30箇所 ⇒ [試行後97箇所](#)



ゲストハウス
コケッコー
【阿寒・摩周・釧路湿原ルート】



スノーピーク十勝
ポロシリキャンプフィールド
【トカプチ400】



道の駅
(北欧の風とうべつ)
【石狩川流域圏ルート】
※5つのモデルルート上の道の駅には全箇所設置



稚内空港
【きた北海道ルート】
※多目的ペースに消臭スプレーを設置

▼宿泊施設内への自転車持ち込み



中川町公共温泉
ポンピラアクアライズイング
【きた北海道ルート】
※自転車を客室に持ち込める
サイクルスタンドあり



鶴居ノーザンビレッジ
HOTEL TAITO
【阿寒・摩周・釧路湿原ルート】

▼修理工具・空気入れ

修理工具 試行前:19箇所 ⇒ [試行後56箇所](#)
空気入れ 試行前:24箇所 ⇒ [試行後68箇所](#)



道の駅 もち米の里☆なよろ
【きた北海道ルート】



▼ボトル給水 (水の無料提供施設)

試行前:52箇所 ⇒ [試行後80箇所](#)



十勝川温泉観光ガイドセンター
【トカプチ400】

▼秘境駅(無人駅)を活用した休憩施設



おのつばないえき
雄信内駅

※トイレ使用可

宗谷本線で貴重な木造駅舎廃墟が立ち並ぶ
かつての集落の中にひっそりと立つ
【きた北海道ルート】

モデルルートにおけるサイクルラックの設置状況

1. きた北海道ルート

道の駅 : 6施設
空港 : 2空港
民間施設 : 13施設
合計: 21施設
延長約350kmに対し平均約17kmに1箇所

2. 石狩川流域圏ルート

道の駅 : 12施設
空港 : 3空港
合計: 15施設
延長約430kmに対し平均約31kmに1箇所

5. 富良野・占冠ルート

道の駅 : 2施設
民間施設 : 13施設
合計: 15施設
延長約180kmに対し平均約12kmに1箇所

 サイクルラックを設置している道の駅 31施設

 サイクルラックを設置している空港 7空港

 サイクルラックを設置している民間施設 59施設

合計: 97施設

(H29.11時点)

※モデルルート全延長約1,670kmに対し、
平均約17kmに1箇所にサイクルラックが設置された

3. 阿寒・摩周・釧路湿原ルート

道の駅 : 4施設

空港 : 1空港

民間施設 : 2施設

合計: 7施設

延長約310kmに対し平均約44kmに1箇所

4. トカプチ400

道の駅 : 7施設

空港 : 1空港

民間施設 : 31施設

合計: 39施設

延長約310kmに対し平均約10kmに1箇所

0 25 50 100 キロメートル

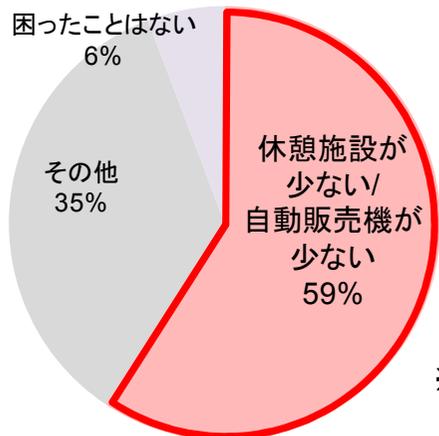
利用者のアンケート調査結果 ①休憩施設

○走行中に困ったことは、全てのルートにおいて、「休憩施設が少ない/自動販売機が少ない」ことが課題。特に河川敷を走行空間とした石狩川流域圏ルートでは、「休憩施設が少ない/自動販売機が少ない」ことを課題とする回答者の割合が大きい。

○立ち寄った施設の改善点は、「サイクルラックがない/少ない」など、ルートによって異なる。

▼走行中に困ったこと

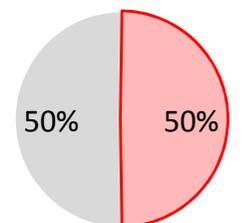
【全ルート合計】



N=86

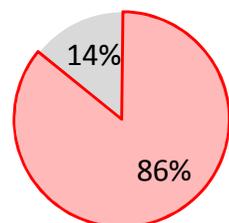
※全ルートの自由回答を4分類し分析

【きた北海道ルート】



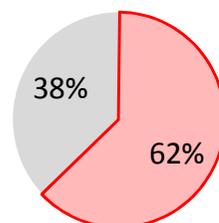
N=30

【石狩川流域圏ルート】



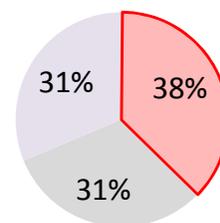
N=7

【阿寒・摩周・釧路湿原ルート】



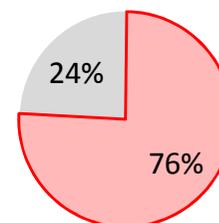
N=8

【トカプチ400】



N=16

【富良野・占冠ルート】

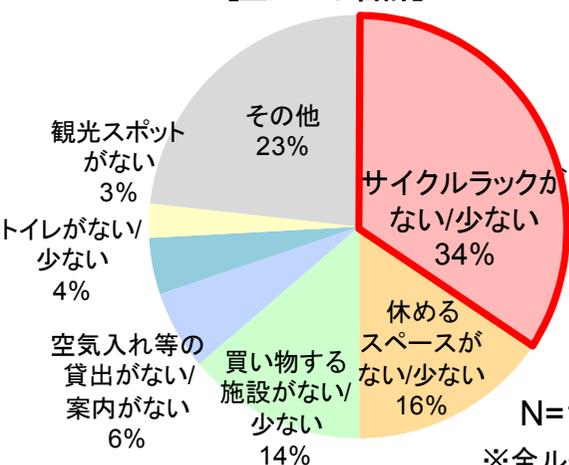


N=25

※分類は「全ルート合計」と同様

▼立ち寄った施設の改善点

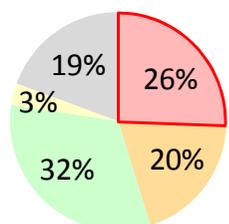
【全ルート合計】



N=116

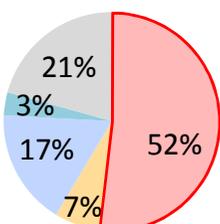
※全ルートの自由回答を7分類し分析

【きた北海道ルート】



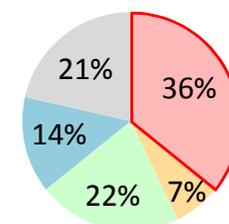
N=31

【石狩川流域圏ルート】



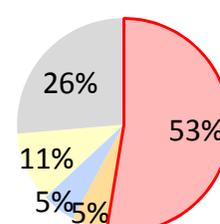
N=29

【阿寒・摩周・釧路湿原ルート】



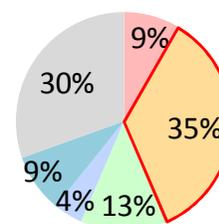
N=14

【トカプチ400】



N=19

【富良野・占冠ルート】



N=23

※分類は「全ルート合計」と同様

試行内容 ②移動のサポート

- 周遊エリアの拡大やトラブル時(悪天候やけが等)の移動をサポートすることを目的とし、路線バスを活用した輸送サービスを実施。
- 移動時の負担軽減を目的とした荷物輸送サービスを実施。(試行)

▼輸送サービスの実施

実施期間: H29.8.1~10.31
(予約制・別途500円)
利用者: 12台(うち外国人2名)



路線バスを活用した輸送サービス
【きた北海道ルート】

▼荷物輸送サービスの実施

実施期間: H29.9.1~9.3
(イベント期間中のみ)
利用者: 4名



運送業者と連携した荷物輸送サービス
【きた北海道ルート】

試行内容 ②移動のサポート

- サイクリングでのトラブル発生時の緊急サポート体制の充実を目的とし、道の駅でのタイヤチューブの販売及びタクシー会社と連携した自転車積込車両の運用を実施。
- 個人の自転車を現地に持ち込まないサイクリストのサポートを目的とし、レンタサイクル事業の開始や拡充、レンタサイクルの乗り捨てを検討するWGの実施。

▼緊急サポート体制の充実



実施期間：H29.6.1～
利用実績無し

タイヤチューブの販売
【トカプチ400】



タクシー会社との連携
【トカプチ400】

大型タクシー(寝台車)を利用し、旅客4名・自転車4台まで利用可能

実施期間：H29.8.9～
利用実績無し

▼レンタサイクル環境の充実



駅前交流プラザ「よろーな」
レンタサイクル事業開始
【きた北海道ルート】

実施期間：H29.4.25～
利用実績：
(電動自転車・シティサイクル等)
5～10台/日程度
(クロスバイク・ロードバイク)
H29年度通算40台程度



レンタサイクルの乗り捨てを
検討するWGの実施
【トカプチ400】



道の駅しむかっぷ
レンタサイクル拡充
【富良野・占冠ルート】

利用者のアンケート調査結果 ②移動のサポート

○アンケート調査の自由回答意見等より、「輪行サービス」、「荷物輸送サービス」、「緊急サポート体制」を充実して欲しいとの意見あり。

▼「輪行サービス」に関する意見

- ・ロングライドの際は、輪行が必要な場合がある。輪行バッグに入れなくても自転車を乗せることが可能な鉄道(季節限定でも可)があると嬉しい。
- ・自転車をバスや鉄道に乗せられるようにしてほしい。
- ・宗谷線に自転車をそのまま詰めれば観光振興に繋がる。



輪行バッグを使ってJR宗谷本線に乗車する外国人サイクリスト

▼「荷物輸送サービス」に関する意見

- ・大きな荷物を持ったままサイクリングすることが難しいため、荷物の輸送サービスが欲しい。
- ・「テッペンライド」の際に荷物を運んで貰い大変便利だった。



輪行バッグを使わないバスへの自転車持込み状況

▼「緊急サポート体制」に関する意見

- ・修理サービスや休憩スポットの充実があると、安心してサイクリングが楽しめる。
- ・自転りに何かトラブルがあっても、修理できる店がない。



パンク修理状況
(出典:しまなみ島走レスキューHP)

試行内容 ③ イベント・モニターツアーの実施

- サイクリスト目線でのルート環境整備の確認やサイクリストに広くルートの魅力を周知することを目的とし、地域団体と連携したサイクリングイベントを実施。
- 外国人サイクリストへ、北海道でのサイクリングの魅力を周知することを目的とし、モニターツアーを実施。

▼サイクリングイベント



TEPPEN-RIDE 2017
【きた北海道ルート】



チャレンジサイクリング
【富良野・占冠ルート】



トカプチ400現地走行会
【トカプチ400】



石狩川流域圏ルート試走会
【石狩川流域圏ルート】

▼海外からのモニターツアー



道東釧路自転車の旅【阿寒・摩周・釧路湿原ルート】



台湾サイクリストと行くサイクリングモニターツアー
【阿寒・摩周・釧路湿原ルート】



「わが村は美しく-北海道」運動と連携した台湾からのモニターツアー
【阿寒・摩周・釧路湿原ルート】

利用者のアンケート調査結果 ③イベント・モニターツアー

○サイクリングイベントやモニターツアーの参加者からは、安全・安心で走りやすいとの評価。
 ○特に外国人からは、北海道の魅力である景観・食に対する満足度が高い。

▼サイクリングイベント参加者アンケート結果

TEPPEN-RIDE2017
【きた北海道ルート】

- ・バイクチェックをしてもらえて、**安心**して走ることが出来た。
- ・宗谷岬がゴールとなっているところがいい。(満足感がある)

石狩川流域圏ルート試走会
【石狩川流域圏ルート】

- ・真雁を見ることのできる観光スポットが良かった。
- ・景色が良く、**走っていて気持ちいい**。

トカプチ400現地試走会
【トカプチ400】

- ・河川敷は**並走**できて楽しい。
- ・道の駅の**サイクルラック**設置の取組は素晴らしい。

チャレンジサイクリング
【富良野・占冠ルート】

- ・道に迷わなくなる。
- ・**安心・快適**にサイクリングができる。

▼海外からのモニターツアー参加者アンケート結果

道東釧路自転車の旅
【阿寒・摩周・釧路湿原ルート】

- ・**景色**が良かった。
- ・**食べ物**(海鮮など)が美味しかった。
- ・**地元の人**が親切だった。

※きた北海道エコ・モビリティ推進連絡会議参加者ヒアリングより

※試走会アンケート結果より(参加者アンケート用紙回答) N=62

※現地試走会アンケート、意見交換の結果より(参加者アンケート用紙回答) N=21

※富良野美瑛チャレンジサイクリング(参加者アンケート用紙回答) N=49

※釧路市アンケート結果より(参加者アンケート用紙回答) N=30



専門家によるバイクチェック状況



真雁観察スポット宮島沼



並走ができる河川敷



チャレンジサイクリング案内ポスター



好評を得た双岳台



ゴールの宗谷岬



好評を得た石狩川の景色



道の駅のサイクルラック



ルートを案内する路面表示



釧路市での歓迎セレモニー

試行内容 ④ルートのご案内や周知

- ルートの詳細案内、周知等を目的とし、休憩施設や景観スポット、注意箇所、自転車走行ルール等を掲載したサイクリングマップを作成・配布。
- ルートの周知を目的とし、プロモーション動画を作成・配信。(日本語・英語・繁体字)
- 本取り組みをPRするため、全国自転車活用推進フォーラムに参加。

▼サイクリングマップの作成・配布 (2,900部)



トカプチ400サイクリングマップ～北エリア～
【トカプチ400】

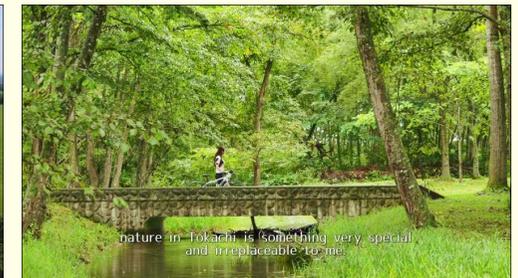


トカプチ400サイクリングマップ～南エリア～
【トカプチ400】

▼プロモーション動画の作成・配信



自転車な旅 in くしろ
【阿寒・摩周・釧路湿原ルート】



トカプチ400 PR動画
【トカプチ400】

▼PRイベントへの参加



全国自転車活用推進フォーラム
～第6回自転車利用環境向上会議 in 愛媛・松山～

試行結果 ④ルートのご案内や周知

- サイクリングマップ、およびプロモーション動画は好評であった。
- プロモーション動画の再生回数は計2,350回。
- 全国自転車活用推進フォーラムでは、全国の参加者から取り組みに対する関心を得た。

トカプチ400サイクリングマップに関する意見

- ・折りたたむと、ポケットに入るサイズなため、現地で確認がしやすくて良い。
- ・多少雨に濡れても破れない素材になっており、安心。
- ・ルートラボのQRコードの記載があるため、マップでは周辺施設、走行時はルートラボと併用できる。

十勝サイクルツーリズム研究会における勉強会より



トカプチ400サイクリングマップ～北エリア～(再掲)
【トカプチ400】

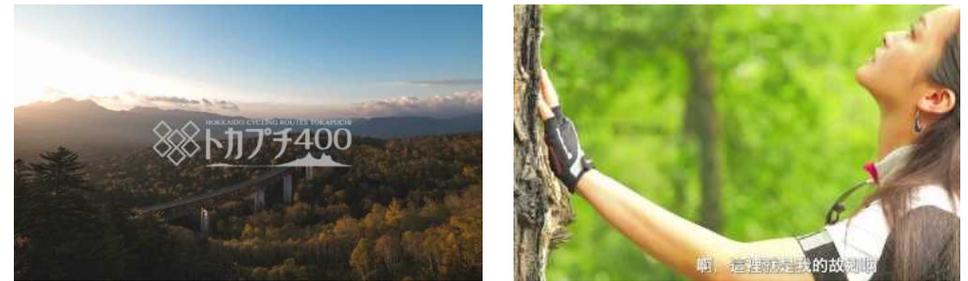
トカプチ400プロモーション動画の再生回数

日本語版:約1,300回 英語版:約150回 繁体字版:約900回
(合計:計2,350回)

トカプチ400プロモーション動画に関する意見

- ・大きなヌプカが映ってますね。※ヌプカ:原野
この映像も十勝の大きなPRになりますように。
- ・美しい風景が最高です。

トカプチ400プロモーション動画のコメント欄より



プロモーションビデオ【トカプチ400】

PRイベントへの参加



第6回自転車利用環境向上会議
in 愛媛・松山でのポスターセッション

平成30年度の試行の方向性(案)

受入環境の充実に向けて

	休憩施設の充実	移動のサポート	イベント・モニターツアーの実施	ルート案内や周知
H29年度の試行から得られた評価	<p>○走行中に困ったことは、全てのルートにおいて、「休憩施設が少ない/自動販売機が少ない」ことが課題。特に河川敷を走行空間とした石狩川流域圏ルートでは、「休憩施設が少ない/自動販売機が少ない」ことを課題とする回答者の割合が大きい。</p> <p>○立ち寄った施設の改善点は、「サイクルラックがない/少ない」など、ルートによって異なる。</p>	<p>○アンケート調査の自由回答意見より、「輸送サービス」、「荷物輸送サービス」、「緊急サポート体制」を充実して欲しいとの意見あり。</p>	<p>○サイクリングイベントやモニターツアーの参加者からは、安全・安心で走りやすいとの評価。</p> <p>○特に外国人からは、北海道の魅力である景観・食に対する満足度が高い。</p>	<p>○サイクリングマップ、およびプロモーション動画は好評であった。</p> <p>○プロモーション動画の再生回数は計2,350回。</p> <p>○全国自転車活用推進フォーラムでは、全国の参加者から取り組みに対する関心を得た。</p>
H30年度の試行の方向性	<p>○民間施設や関係機関等との連携により、休憩施設の数、質の向上、秘境駅(無人駅)の活用等を進める</p> <p>○石狩川流域圏ルートの河川敷については、休憩施設の案内強化を検討</p> <p>○全てのルートについてサイクルラックを増加</p> <p>○ルート毎に「休めるスペース」や「買い物する施設」等への案内強化を検討</p>	<p>○公共交通等による輸送・荷物輸送・緊急サポート・レンタサイクルサービスについて、事業者との調整を継続</p> <p>○ニーズや満足度について引き続き検証していく</p>	<p>○国内観光客に加え、外国人観光客へ向けたサイクリングイベントやモニターツアーを継続実施</p>	<p>○サイクリングマップの作成、プロモーション動画の作成、PRイベントの実施</p>
	 <p>バスへの自転車持込(再掲)</p>	 <p>モニターツアー(再掲)</p>	 <p>サイクリングマップ(再掲)</p>	